

令和2年度 土木部長の目標宣言

部長メッセージ	土木部長 古尾谷 栄一
本市では、令和2年3月7日の新東名高速道路の「伊勢原大山インターチェンジ」の開通により交通利便性の向上が図られ、「住み続けたい快適で魅力あるまち」を目標に、「快適で暮らしやすいまちづくり」を目指し、誰もが安全で円滑な移動が出来る環境を整えるため、安全で安心な歩行空間の整備を進めます。	
また、都市計画道路の整備や経年劣化等により対策を優先すべき橋りょうの修繕・耐震化を進めます。	
部等の主な役割	
<ul style="list-style-type: none"> ・道路法の規定に基づく道路の適正な管理に関すること 市道の認定、境界、財産管理、占用工事等の許認可 ・道路及び橋りょうに関すること 計画策定、維持管理、整備 	

部等の取組方針	
1	【狭あい道路の整備を推進します】 狭あいな道路環境の改善を図るため、建築行為における道路後退用地の取得に係る測量、分筆登記費用及び工作物等の支障物件の撤去費の一部を助成するとともに、後退部分の整備を進めます。
2	【道路施設の老朽化対策を推進します】 交通安全の確保を図るため、老朽化が著しい道路の舗装の打ち換えを進めます。 また、橋りょうの適正な管理、予防保全の観点から「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、修繕・耐震化を計画的に進めます。
3	【都市計画道路の整備を推進します】 地域間の交通利便性の向上を図るため、都市計画道路田中笠窪線の整備を進めます。
4	【安全な歩行空間の整備を推進します】 市民からの要望や通学路点検結果を踏まえ、歩行空間のバリアフリー化やグリーンベルトによる歩車共存道路整備を進めます。

中期戦略事業プラン(計画期間:平成30年度～令和2年度)「主な事業」の目標値

事業番号	主な事業	事業指標	当初水準	平成30年度実績値	令和元年度実績見込値	令和2年度目標値	所管課
33-101	安全な歩行空間整備事業	歩道、バリアフリー化道路及び歩車共存道路の整備済み工事延長	3,670m (平成 28 年度)	6,546m	7,856m	9,880m	道路整備課
34-101	都市計画道路田中笠窪線整備事業	事業の進捗率	44.3% (平成 28 年度)	63.0%	73.2%	87.0%	道路整備課
35-101	橋りょう長寿命化対策事業	橋りょうの修繕及び耐震化済みの橋りょう数	7 橋 (平成 28 年度)	9 橋	12 橋	16 橋	道路整備課

※令和2年度の目標値は、計画策定時(平成29年度)に設定した数値です。

なお、中期戦略事業プランは、令和2年度に改訂します。